



ファイルシステムのベストプラクティスの実装 Amazon FSx for NetApp ONTAP

NetApp
March 02, 2026

目次

ファイルシステムのベストプラクティスの実装	1
FSx for ONTAPファイルシステムの構成分析	1
適切に設計されたステータス	1
分析要件	2
適切に設計されたファイルシステム構成の実装	2
タスクの内容	2
開始する前に	3
構成の問題を修正する	3
構成分析を閉じる	4
却下された構成分析を再アクティブ化する	4

ファイルシステムのベストプラクティスの実装

FSx for ONTAP ファイルシステムの構成分析

NetApp Workload Factory は、Amazon FSx for NetApp ONTAP ファイルシステムの構成を定期的に分析し、問題があるかどうかを判断します。問題が見つかった場合、Workload Factory は問題の内容を示し、ファイル システム ストレージが最高のパフォーマンス、コスト効率、ベスト プラクティスへの準拠を実現するために何を変更する必要があるかを説明します。

主な機能は次のとおりです。

- 日常的な構成分析
- ベストプラクティスの自動検証
- プロアクティブなオペレータビリティ
- インサイトからアクションへ
- AWS Well-Architected Framework Advisor

適切に設計されたステータス

Workload Factory コンソールのファイルシステム レベルでは、すべての FSx for ONTAP ファイルシステムの well-architected ステータスがリストされます。Well-Architected のステータスは、「問題」、「未分析」、または「Well-Architected」に分類されます。Well-Architected ステータスを選択すると、ファイル システム内の Well-Architected ステータス タブにリダイレクトされ、そこで Well-Architected スコア、構成カテゴリ、ファイル システムのすべての構成を確認できます。

適切に設計されたスコア

スコアには現在分析されているすべての構成が含まれ、パーセンテージで表示されます。25%のスコアは、25%のファイルシステム構成が適切に設計されていることを意味します。

構成のカテゴリ

ファイルシステム構成は、AWS Well-Architected Frameworkの次の5つの柱に沿ったカテゴリに分類されています。

- 信頼性：システムが停止した場合でも、ワークロードが意図した機能を正しく一貫して実行するようにします。構成例としては、FSx for ONTAPのバックアップがあります。
- セキュリティ：リスク評価とリスク軽減戦略を通じて、データ、システム、資産を保護することに重点を置いています。
- 優れた運用性：最適なアーキテクチャとビジネスバリューを提供することに重点を置いています。
- コスト最適化：コストを最小限に抑えながらビジネス価値を提供することを目指しています。
- パフォーマンス効率：リソースを効率的に使用してシステム要件を満たし、需要の変化に応じて最適なパフォーマンスを維持することに重点を置いています。

分析要件

完全なファイル システム分析を行うには、次の操作を実行する必要があります。

- リンクを関連付けます。リンク接続により、Workload Factory はデータ保護やパフォーマンスなどのすべてのファイル システム構成を分析できます。

["既存のリンクを関連付ける方法、または新しいリンクを作成して関連付ける方法を学びます"](#)です。

- AWS アカウントで表示、計画、分析の権限を付与します。

["AWSアカウントに権限を付与する方法を確認する"](#)

次のステップ

["適切に設計されたファイルシステム構成の実装"](#)

適切に設計されたファイルシステム構成の実装

構成分析の洞察と推奨事項を使用して、Workload Factory を活用し、FSx for ONTAP ファイルシステムのベストプラクティスを実装します。適切に設計されたシステムのステータスを簡単に確認し、構成に関する問題を把握し、信頼性、セキュリティ、効率、パフォーマンス、コストが最適化されていないシステムのアーキテクチャを改善するための措置を講じることができます。

不要なアラートや不正確な最適化結果を回避するために、ストレージ環境に適用されない特定のストレージ構成の分析を無視することもできます。

["Workload Factory の構成分析と Well-Architected ステータスについて学習します。"](#)

タスクの内容

ワークロードファクトリーは、Amazon FSx for NetApp ONTAPファイルシステムのデプロイメント構成を毎日分析します。この毎日の分析では、Well-Architected ステータス、インサイト、推奨事項に加え、ファイルシステムがベストプラクティスに準拠するように構成の問題を自動的に修正するためのオプションが提供されます。

リンク接続により、Workload Factory はパフォーマンス、データ保護、構成に関する問題をスキャンできます。["リンクを使用して FSx for ONTAPファイルシステムに接続する"](#)ファイル システム リソースの最も包括的な分析を実現します。

Workload Factory コンソール内のストレージから、ファイル システムの構成の問題に関する推奨事項を確認し、問題を修正するオプションがあります。

ストレージ構成の要件はさまざまであるため、ストレージ環境に適用されない特定の構成の分析を無視できます。これにより、不要なアラートや不正確な最適化結果を回避できます。特定の構成分析を無視すると、その構成は全体の最適化スコアに含まれなくなります。

分析対象

Workload Factoryは、FSx for ONTAPファイルシステムの次の構成について、適切に設計されたステータスを分析します。

- 信頼性：SSD 容量しきい値、スケジュールされたローカル Snapshot、スケジュールされたボリュームバックアップ、リモート データ レプリケーション、長期保存のためのデータ信頼性
- セキュリティ: AI (ARP/AI) を無効にした NetApp Autonomous Ransomware Protection とボリュームへの不正アクセス
- 運用上の卓越性：自動容量管理、ボリューム ファイル容量使用率のしきい値、ボリューム使用率がほぼ満杯、キャッシュ関係書き込みモード、キャッシュ ボリューム サイズの最適化、ボリューム論理容量レポート
- コストの最適化：ストレージ効率、データ階層化、不要なスナップショットとバックアップの削除、非アクティブなブロックデバイス、十分に活用されていない SSD 容量

開始する前に

- AWS アカウントで["操作と修復の権限を付与する"](#)する必要があります。
- 修復プロセスにより、インスタンスのダウンタイムやサービスの中断が発生する可能性があります。構成の問題を修正することを選択する前に、各推奨事項を慎重に確認してください。
- ["リンクを使用して FSx for ONTAPファイルシステムに接続する"](#)ファイル システム リソースの最も包括的な分析を実現します。

構成の問題を修正する

FSx for ONTAPファイル システムまたはファイル システム内の選択したボリュームの構成の問題を修正できます。修正する構成を 1 つ以上選択できます。

手順

1. いずれかを使用してログインし["コンソールエクスペリエンス"](#)ます。
2. メニューを選択  次に*ストレージ*を選択します。
3. ストレージ メニューから、**Well-architected** を選択します。
4. どの構成でも*問題の表示*を選択します。推奨事項を注意深く確認してください。

推奨事項には、最適化されていない構成のベストプラクティスと潜在的な落とし穴が記載されています。

5. [To]*[Fix]*を選択します。

[表示して修正]*がオプションの場合は、修正する影響を受けるボリュームを選択します。

6. ダイアログに表示されるサマリー項目とアクション項目を確認して、問題の修正を選択した場合の動作を確認します。処理によっては、インスタンスの停止やサービスの中断が発生することがあります。
7. 構成の問題を修正するには、*[続行]*を選択します。

結果

問題を修正するプロセスが開始されます。アカウント設定メニューを選択し、*トラッカー*を選択して操作のステータスを表示します。

構成分析を閉じる

閉じて、FSx for ONTAPファイル システムまたはファイル システム内の選択されたボリュームの構成分析を無期限に停止します。必要に応じて分析を再開できます。

ファイルシステムの構成分析を閉じる

手順

1. いずれかを使用してログインし"コンソールエクスペリエンス"ます。
2. メニューを選択  次に*ストレージ*を選択します。
3. ストレージ メニューから、**Well-architected** を選択します。
4. どの構成でも*問題の表示*を選択します。推奨事項を注意深く確認してください。

推奨事項には、最適化されていない構成のベストプラクティスと潜在的な落とし穴が記載されていません。

5. [構成] で、環境に適用されない構成を特定し、[無視] を選択します。
6. [構成の却下] ダイアログで、[却下] を選択して構成の分析を停止します。

ボリュームの構成分析を閉じる

手順

1. いずれかを使用してログインし"コンソールエクスペリエンス"ます。
2. メニューを選択  次に*ストレージ*を選択します。
3. ストレージ メニューから、**Well-architected** を選択します。
4. [構成] で、選択したボリュームに対して却下する構成を特定し、[表示して修正] を選択します。
5. 構成分析から除外するボリュームを特定します。
 - ボリュームが 1 つの場合: アクション メニューを選択し、[ボリュームを閉じる] を選択します。
 - ボリュームが複数ある場合: ボリュームを選択し、「一括操作」の横にある 閉じる を選択します。
6. 構成の分析を停止するには、[閉じる] を選択します。
7. [ボリュームを閉じる] ダイアログで、[閉じる] を選択して確認します。

結果

ファイル システムまたは選択したボリュームの構成分析が停止します。

分析はいつでも再アクティブ化できます。この構成は、合計最適化スコアに含まれなくなりました。

却下された構成分析を再アクティブ化する

閉じた構成分析はいつでも再アクティブ化できます。再アクティブ化する構成を 1 つ以上選択できます。

ファイルシステムの構成分析を再アクティブ化する

手順

1. いずれかを使用してログインし"コンソールエクスペリエンス"ます。
2. メニューを選択  次に*ストレージ*を選択します。
3. ストレージ メニューから、**Well-architected** を選択します。
4. 無視された構成 を選択します。
5. 再アクティブ化する構成を識別し、「再アクティブ化」を選択します。

ボリュームの構成分析を再アクティブ化する

手順

1. いずれかを使用してログインし"コンソールエクスペリエンス"ます。
2. メニューを選択  次に*ストレージ*を選択します。
3. ストレージ メニューから、**Well-architected** を選択します。
4. 無視された構成 を選択します。
5. 構成分析から再アクティブ化するボリュームを特定します。
 - 1つのボリュームの場合：アクション メニューを選択し、*ボリュームの再アクティブ化*を選択します。
 - ボリュームが複数ある場合: ボリュームを選択し、「一括操作」の横にある「再アクティブ化」を選択します。

結果

構成分析が再アクティブ化されます。今後は毎日新たな分析が行われます。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。